

インターナショナルSOSジャパン株式会社 様

社員の不用意なインターネット接続が減少 ログ収集とメッセージ通知でユーザーの意識を高める！

AssetView GOLD Mの運用は社員の自制心の強化に役立つ

ご担当者様



インターナショナルSOSジャパン
株式会社
インフォメーション&
コミュニケーションズ
テクノロジーマネージャ
荒川 洋行氏

弊社担当営業



株式会社ハムモック
営業本部
営業一課
後藤 淳

高度な個人情報保護が求められる 「アシスタンス・ビジネス」

インターナショナルSOSはアシスタンス・ビジネスにおける世界最大級のリーディング・カンパニーである。

アシスタンス・ビジネスとは、お客様が海外において病気や怪我、また暴動やテロなどの緊急事態に遭遇した際、現地の医療事情や治安情勢をふまえて、事態の解決に必要な支援を行うサービスで、すでに世界約7700社(米国フォーチュン誌グローバル100社の82%)が同社の会員企業になっている。インターナショナルSOSジャパンはその日本法人であり、海外で事業展開している企業の社員、家族が安心して滞在できるよう、現地医療・セキュリティ情報の提供、各種ご相談、万が一の場合の、緊急医療搬送、安全退避など多角的なソリューションをグローバルに提供している。

メディカル面やセキュリティ面でのリスク対策を中心に、危機発生を未然に防止するための、事前のリスク・マネジメントと、実際に危機が生じた場合にそれがもたらす損害を極小化する事後のリスク・マネジメントを融合した『ハイブリッド・アプローチ』によるサービスが特長である。

例えばメディカル面では、海外での安全で健康

な就労を実現するための企業の諸施策を立案段階から支援。日本とは異なる医療水準や医療制度などの環境において、病気だけでなく交通事故などの医療リスクから、企業の社員と家族を守るための活動を実施している。

セキュリティ面における支援についても、事前のコンサルティングから暴動やテロに巻き込まれてしまった際の損害の極小化対策まで企業が講ずる様々な諸施策を実効的に支援している。

従って、同社では会員企業の社員の医療カルテをはじめとする機密性の高い個人情報を取り扱わなければならないケースが多く、個人情報保護法やHIPPAなどの法的規制の観点からだけでなく、顧客からの信頼を獲得するためにも、高度なセキュリティ対策が必要不可欠である。

同社のITシステムでは、これまで検疫ネットワークをはじめとするセキュリティソリューションが導入されてきたが、さらにセキュリティ強化を図るために、PCログ監視ツールの導入が検討され、その結果、2007年末に「AssetView GOLD M」が導入された。そこで、同社インフォメーション&コミュニケーションズテクノロジーマネージャである荒川洋行氏に、その導入の経緯と運用状況についてのお話を伺った。

導入先企業データ



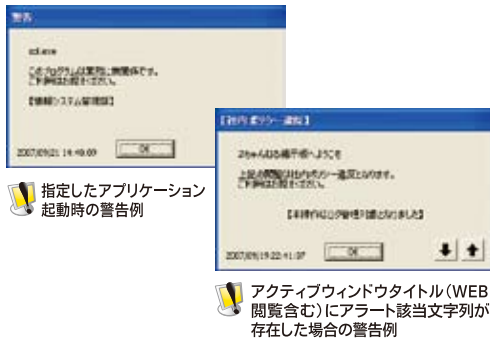
日本法人
所在地：〒102-0074
東京都千代田区九段南3-9-14
九段南C&Mビル8階
URL：http://www.internationalsos.co.jp
本社所在地：ロンドン
シンガポール



Worldwide reach Human touch

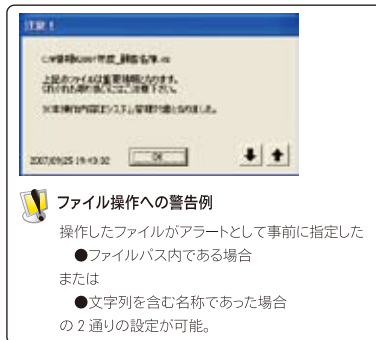
グローバル化の急速な進展とともに高度化する海外のリスク・・・
インターナショナルSOSは最高の医療及び治安アシスタンス・サービスを通じて適切なソリューションをお届けします。

■AssetView GOLD M【警告画面例】



指定したアプリケーション
起動時の警告例

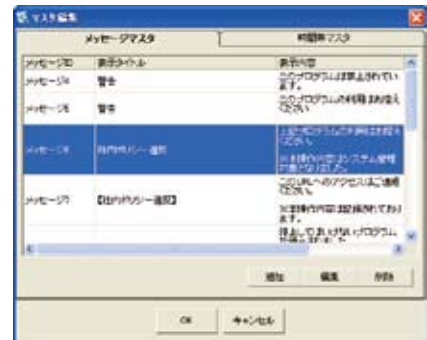
アクティブウィンドウタイトル(WEB
閲覧含む)にアラート該当文字列が
存在した場合の警告例



ファイル操作への警告例

操作したファイルがアラートとして事前に指定した
●ファイルパス内である場合
または
●文字列を含む名称であった場合
の2通りの設定が可能。

【メッセージマスタ編集画面】



事前にメッセージマスタに警告内容を登録し、対象となる不正な操作やユーザーグループにより適したメッセージを選択する仕組みの為、非常に細やかな設定が可能です。また、時間帯により内容を区分することもできます。

※掲載している画面は操作の一例です。

複数のログ管理ツールを半年ほど
テスト稼働して評価検討

世界規模で事業展開している同社では、当然ながら導入するITツールも世界水準を満たす製品でなければならない。そこでまず、荒川氏に「AssetView GOLD M」の導入経緯を振り返って頂いた。「ログ管理ツールは日本製品がリードしている分野だったことから、今回の導入にあたっては、日本法人独自に、3製品ほどのログ管理ツールを比較検討し、半年ほどかけてテスト稼働も実施してみた。」「その結果、製品によってはログデータの機能を強固なものにしたり、複雑な分析が可能だったりする一方で、導入や運用が大掛かりになり、管理サーバも複数台必要になったりすることが分かった。当社ではログ管理以外にもセキュリティソリューションを導入していることから、そこまでログ管理だけに投資する必要がない。」

「一方、AssetView GOLD Mは導入が簡単で、すぐにスタートさせることができ、プログラム自体も重くないことが分かった。また、他社は多機能パッケージになっているところがほとんどで、不要な機能まで購入しなければならないが、AssetView GOLDなら今必要な機能だけを導入することができ、将来の拡張性も保証されている点が高く評価された。」

最大の導入効果は、更なる自制心が
社員の間に芽生えたこと

それでは、AssetView GOLD M導入後、どのようなメリットが得られているのだろうか。これについて、荒川氏は次のようにコメントしている。「導入

後、社員のインターネット接続が減少するようになった。これはAssetView GOLD Mに搭載されているアクティブウィンドウのタイトルログ収集機能と、警告メッセージ機能によるもので、社員がインターネット接続を行う際に、様々な自制心が働くようになった結果だ。つまり、インターネットや情報にアクセスする前に、本当にその行為は業務に必要なことなのかを真剣に考えるようになった。」

AssetView GOLD Mには、どんなウィンドウを画面に表示したかをログ収集できる機能が搭載されていて、このログを見れば、この社員は一体何をしようとしているのかがすべてわかるようになっている。さらには事前にアラート対象となるキーワードを100個まで指定登録することができ、そのキーワードに合致した場合には、そのクライアントに警告メッセージが表示される仕組みも備えている。この機能の組合せが、社員の自制心を今まで以上に強くしているのである。

「アクティブウィンドウタイトルログ収集機能のキーワード登録が2つ(警告を出すキーワードとチェックするが警告は出さないキーワード)にカテゴリ分けされているところも使いやすい。警告は出さないが、管理しておきたいキーワードが存在するからである。せっかく使い勝手のよい機能なので、登録可能なキーワード数を現在よりも大幅に増やしてほしい。」(荒川氏)



※画面はユーザーによる不正操作時の一例です。

他のツールやソリューションとの
連携への期待

ITシステムのセキュリティ対策に終着駅は存在しない。技術進歩の影で、新しいセキュリティリスクが常に出現してしまうからである。荒川氏は、今後のAssetView GOLD について、次のような期待を寄せている。

「いままでのツールはセキュリティチェックは可能だが不正行為を止めることはできない。しかし、不祥事などが発生した場合、経営陣からすれば、ログを監視しているのにどうして不正行為を止められなかったのかという話になる。従って、今後は不正をリアルタイムで阻止するための仕組みも必要になるはずだ。他のセキュリティツールやソリューションと幅広く連携しながら、リアルタイムで様々な不正行為を阻止できる仕組みの登場を期待している。」

ハンモックではAssetView GOLDを中心としたセキュリティツールの枠をさらに広げ、今後はJ-SOX法への対応支援としてBPMツールなど効果的なソリューション展開にも力を入れていく。

企業における不正をなくし、かつ生産性を高める仕組みの構築に更なる努力を続けていく。

お問い合わせ

株式会社ハンモック

営業本部 営業部

TEL:03-5287-5661 FAX:03-5287-5610

E-mail : n_sales@hammock.co.jp

URL : http://www.hammock.jp

取材日：2008年2月26日